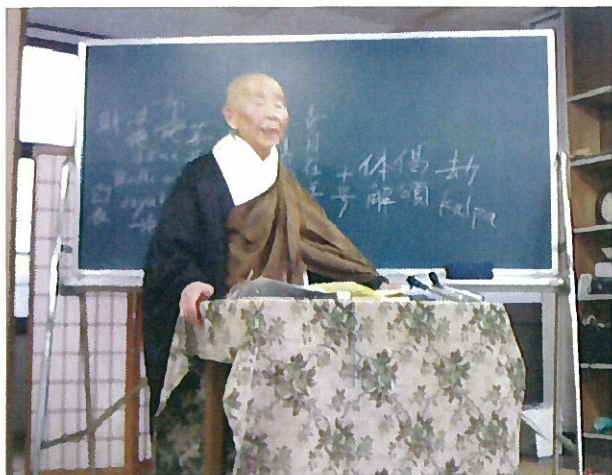


平成27年1月17日（土）の「仏教女性の集い」

平成27年が幕明けました。今年は終戦から70年であり、奇しくも今日は阪神淡路大震災が起きて20年の月日が経ちます。近藤先生は戦争がもたらす悲惨な事、震災による被害を受けられた方々に対して哀悼の意を述べられておりました。また、新年早々にお会いする方々とは、今年一年も幸多い年であり、皆さんと共にお念仏を唱えて行きましよう、話され法話は始まりました。



初めに前回のお話の中にあつた「仏教の修業はとても厳しく、何億劫かかっても到達できないかもしれないが・・・」というお話を前回のブログに何億光と載せてしまっていた内容に訂正がありました。それは何億光ではなく何億劫です。

劫とは（kalpa）無限大の時間であると。

仏教語は難しい言葉があり、文字にしないと分からないものもあり、意味深いものがあるお話をさせて頂きました。

今回のお話「開経偈」「四誓偈」のお話に移られました。

西行法師の和歌を詠まれ『いつの間に長き眠りの夢さめて 驚くことのあらんとすらむ』

お釈迦様の叔母さんである、摩訶波闍波提まかはじゃはだいが最初の比丘尼になられた話など多彩にわたる説明を加えながら「四誓偈」の誓いを立てられたところまでの話をされました。

非常に興味深い所で話が終わり、続きを伺うのが楽しみとなっています。

そして、一枚起請文の写経をさせて頂きました。

（参加者感想 K. O）



今回のお菓子は新年に相応しく

「花びら餅」です。

お初釜ではよく用いられるお菓子です。

茶話会では、近藤先生の教え子の方が伊豆半島からお見えになり、その方のお寺の話など和やかにされていましたが、近藤先生が「仏教女性の集い」でお話しされた法然上人御法語の前篇が刊行された事に併せて、中外日報の記者の方が取材に来られた途端、先生が記者の方から受けられるインタビューの模様を興味深く拝見する状況に変わりました。

記者の方からの質問

「この本が出る事で何か伝えたい事がありますか？」

近藤先生の返答

「法然上人がおっしゃった、『南無阿弥陀仏』以外には無いと言う事。お念仏は素晴らしい。法然上人の御法語を中心にしたお話で真髓を説いているのです。聞き覚えだけで言うのではなく、自覚を持って本気で『南無阿弥陀仏』を唱えられる様に、お念仏がどう言う意味を持っているか？阿弥陀様の本願を一生懸命話しているのです。その内容が本になりました。題は【法然法語に聞く】になっています」



記者の方から「この会でお話になられるのに心掛けていらっしゃる事は？」の問いに、力強く「無い！ありのままに。話も脱線するし、思いついたままに話しているのです」等の会話に笑いが起きたりと和やかに30分程の公開インタビューは続きました。いつもに増して実りの多い一日でした。

次回の「仏教女性の集い」は平成27年2月21日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時
参加費 1,000円 宗教・宗派は問いません。
条件は女性であることだけです。
多数のご参加お待ちしております。
市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩150m
『吉水尼僧庵』(旧尼僧道場跡)で開催しております。
問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで



「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。

<お知らせ>

近藤先生がご法話下さいました法然上人御法語「前編」の刊行が遅れておりましたが、ようやく完成致しました。

お問い合わせは、隆彦院 075-561-7581 まで